

ご使用前にこの添付文書を必ずお読みください。
また、必要時にそなえて大切に保管してください。

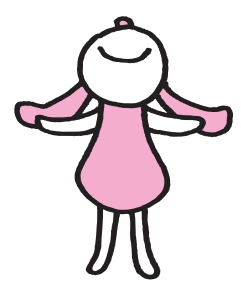
第3類医薬品

ネオビタホワイトプラス「クニヒロ」


ビタミンCは、しみ、そばかすの原因となるメラニン色素の生成を抑制して皮膚の色素沈着を緩和し、黒色メラニンの脱色化を促進します。また、肌や粘膜などの細胞組織を正常に保つコラーゲンの生成に役立ちます。

さらに、L-システインが皮膚の新陳代謝を活発にしてビタミンCの働きを助け、ビタミンEが肌の血行を良くして、しみ、そばかすの緩和に効果をあらわします。

ネオビタホワイトプラス「クニヒロ」は、ビタミンCにL-システインと天然型ビタミンE、さらに皮膚の皮脂腺の働きを調節する持続型のビタミンB2を配合した製品です。



⚠️ [使用上の注意]

相談すること 

1. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
消化器	吐き気・嘔吐、腹痛

2. 服用後、次の症状があらわれることがあるため、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。
下痢
3. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。

[成分]

1日量（6錠）中

- ビタミンC（アスコルビン酸）……………600mg
 - L-システイン……………240mg
 - コハク酸d- α -トコフェロール（ビタミンEのコハク酸エステル）……50mg
 - リボフラビン酪酸エステル（ビタミンB2酪酸エステル）……………12mg
- 添加物として、セルロース、トウモロコシデンプン、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、ヒプロメロース、白糖、タルク、酸化チタン、アラビアゴム、ポビドン、カルナウバロウ、ステアリン酸マグネシウムを含有します。

（裏面もお読みください）

<成分に関連する注意>

- (1) 本剤の服用により、尿および大便の検査値に影響を与えることがあります。医師の治療を受ける場合は、ビタミンCを含有する製剤を服用していることを医師に知らせてください。
- (2) 本剤の服用により、尿が黄色くなる場合がありますが、リボフラビン酸エステル（ビタミンB₂酸エステル）によるものですので心配ありません。

[効能・効果]

- 次の場合のビタミンCの補給：
肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時、老年期
- 次の諸症状の緩和：
しみ、そばかす、日やけ・かぶれによる色素沈着
- 次の場合の出血予防：
歯ぐきからの出血、鼻出血
「ただし、これらの症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師、薬剤師または歯科医師に相談してください。」

[用法・用量]

次の1回量を1日3回食後、水またはお湯でかまずに服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	2錠	3回
7歳以上15歳未満	1錠	
7歳未満	服用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

[保管および取扱い上の注意]

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
なお、本剤は特に吸湿しやすい製剤ですから、服用のつどビンのフタをよくしめてください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 誤用をさげ、品質を保持するために他の容器に入れかえないでください。
- (4) ビンの中の詰め物は、輸送中の錠剤の破損を防止するために入れてありますので、フタをあけた後はすててください。
- (5) 箱およびビンの「開封年月日」記入欄に、開封した日付を記入し、ビンをこの文書とともに箱に入れてそのまま保管してください。
- (6) 一度開封した後は、品質保持の点から6ヵ月以内に服用してください。
なお使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本製品についてのご相談は、お客様相談窓口までお願い致します。

お客様相談窓口 フリーダイヤル 0120-023520

受付時間 平日9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

兵庫県尼崎市長洲本通2丁目8番27号

皇漢堂製薬株式会社